








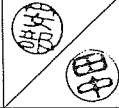



日出生台演習場廠舎建具改修

件名	日出生台演習場廠舎建具改修									
図面	表紙									
縮尺	—	作成年月日			令和7年12月8日			図面番号		1/5
業務隊長	管理科長	営繕班長	管理班長	工事企画係	木工係長	施設管理専門官	管財係	施設管理係長	施設管理係	設計
										
陸上自衛隊 湯布院駐屯地業務隊管理科										

仕 様 書

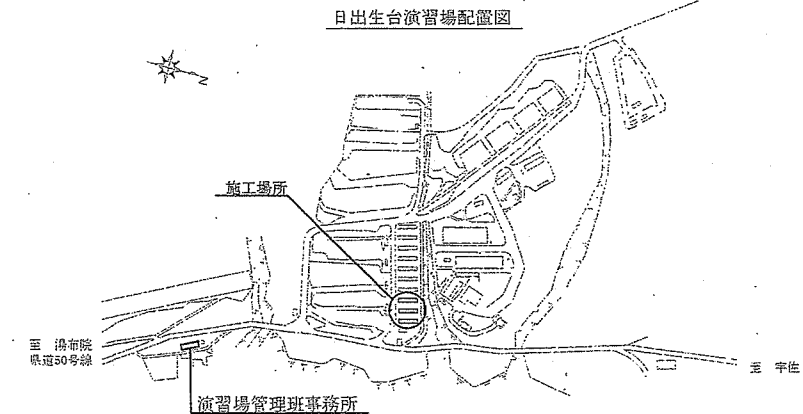
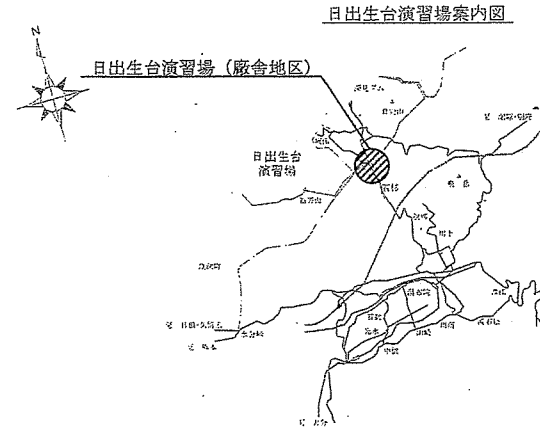
- 1 件 名 : 日出生台演習場廠舎建具改修
- 2 作業場所 : 大分県玖珠郡玖珠町日出生 陸上自衛隊 日出生台演習場 廠舎地区
- 3 概 要 : アルミ製建具改修6箇所(26号・27号・28号廠舎 各2箇所通用口)
- 4 一般事項
 - (1) 本仕様書は、「日出生台演習場廠舎建具改修」について適用する。
 - (2) 本仕様書に特記無き事項及び用語の定義については、国土交通省監修「公共建築(改修)工事標準仕様書(建築工事編)」最新版、その他関係諸法規を遵守し実施するものとする。
 - (3) 作業実施計画(工程表)を監督官へ提出し、実施日及び作業工程を十分に協議し、決定するものとする。
 - (4) 請負者は、仕様書及び現地において不明な点が生じた場合は、監督官と協議しその指示に従う。
 - (5) 本作業で使用する工具及び工事車両等については、請負者が準備するものとする。
 - (6) 本作業に際し、他の箇所に損傷を与えないよう十分注意して実施し、万一損傷を与えた場合は、請負者の負担において速やかに原形復旧するものとする。
 - (7) 請負者は作業完了後、現場の整理整頓及び清掃を実施する。
 - (8) 請負者は、自衛隊敷地内への立入り及び行動については、当該演習場の規則及び官側の指示を遵守して行うものとし、作業場所以外への立入りを禁止する。やむをえず作業場所以外への立入りを必要とする場合は官側の許可を得るものとする。
 - (9) 本作業に際して、本仕様書に明記なき事項についても、作業上当然実施すべき事項については請負者の負担で実施する。その際、契約金額の変更はないものとする。
 - (10) 本作業の写真は、着手及び完了並びに実施中の他、監督官の指示する箇所を鮮明に横向きで撮影し、役務完了後カラーA4判写真帳に整理し提出すること。
 - (11) 本作業に際し、演習場の水道及び電力の使用は原則できないものとするが、やむを得ず使用する場合は仮設計測機器を設置し、使用量に応じた金額を請負者が負担すること。
 - (12) 作業中は、安全管理及び関連法規類を遵守し、事故等発生した場合は、速やかに監督官へ報告すること。
 - (13) この契約により知り得た自衛隊に関する情報について、他に漏洩及び転用してはならない。
 - (14) 監督官の指示書類は、速やかに提出すること。
 - (15) 本作業に際し、外国人の入場には部隊側が示す様式により申請が必要であり、許可を受けた者のみ入場可能とする。また、部隊側の手続き上、許可までに1ヶ月程度の期間を要する。

- 5 特記事項
 - (1) 本仕様書に記載された寸法は設計寸法であり、細部寸法等については請負者において現場を必ず実測し、改修後は設計上の有効巾を確保すること。(詳細図5/5を参照)
 - (2) 工事期間中は、十分な安全対策を講じ、建屋内への粉塵・外気進入防止の為、仮設養生を実施すること。
 - (3) 本作業に際して、契約内容を超える作業が別途必要であると判断した場合には、監督官と協議し早急に見積書を提出するものとする。
 - (4) 本施工で使用する建具については、事前に監督官へ建具承認図を提出し、承認を受けること。その他の材料については全て新品とし、監督官の検査を受けた合格品のみ使用する。
 - (5) 新設建具枠は納まり良く取り付けるものとし、新設建具枠と既設内装仕上げ材は、シーリング材で見栄え良く施工するものとする。シーリング材は共通仕様書(改修)3.7.1によるものとする。
 - (6) 本作業の実施については、官側の都合により平日の作業が難しい場合、土日祝日でも実施可能とする。その場合、契約金額に変更は生じないものとする。
 - (7) 本施工で発生した発生材については、金属屑のみ官側に返納し、演習場管理班事務所へ収集運搬する。その際、金属屑重量を請負者側において計測し、発生材報告書へ記載した後、監督官に提出する。尚、金属屑以外については、請負者において産業廃棄物処理法に基づき適切に処分するものとする。
 - (8) アルミ製建具の基準色については、グレー(光沢無し)とする。
 - (9) 工事完了後、建具開閉動作確認を行い、円滑に開閉できることを確認すること。
 - (10) 扉厚は30mmを基準とする。
 - (11) 建具鍵仕様については引戸錠とし、美和ロックU9FG3-1(バックセット51mm)と同等品とする。
 - (12) 建具取付に際し、既存建屋との気密性・水密性を確保し、当項目については目視での検査を実施する。
 - (13) 提出書類【各提出部数は監督官より指示】

- ア 現場代理人通知書
- イ 作業日誌
- ウ 工程表
- エ 作業報告(写真)帳
- オ 発生材報告書
- カ その他、監督官が指示した書類

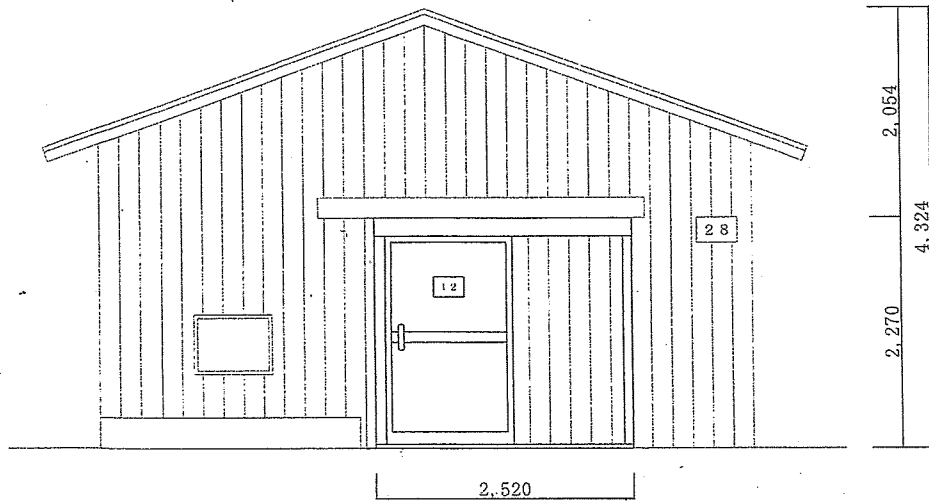
- 6 検査

検査は施工後に扉の開閉を行い、異常無い事を確認のうえ現場合格とする。また、監督官が提出を求めた書類の提出をもって書面検査合格とし、現場及び書面両方の検査合格にて完了とする。尚、手直しが発生した場合には、手直し終了後の再検査での合格をもって完了とする。

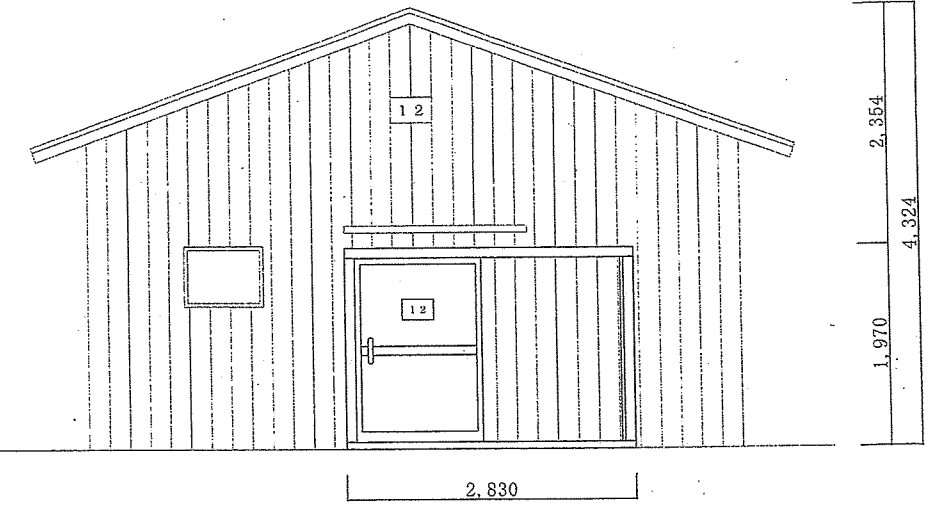


件名	日出生台演習場廠舎建具改修				
図面	仕様書				
縮尺		作成年月日	令和7年12月7日	図面番号	2/5
陸上自衛隊 湯布院駐屯地業務隊管理科					

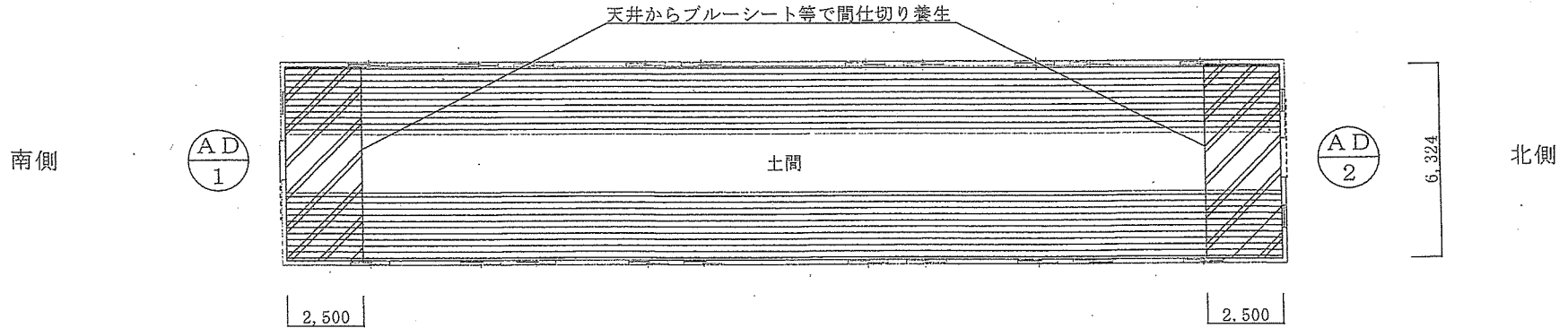
表側通用口(南側)




裏側通用口(北側)



【 26号・27号・28号 廠舎平面図 】 S=1/150

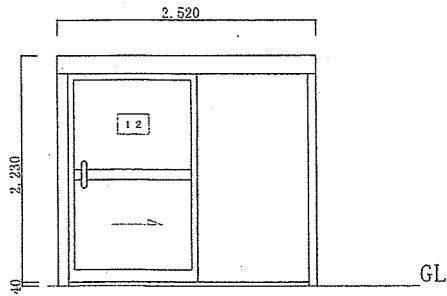


※工事順序については、北側と南側を交互に実施し、屋外から建屋内への通行に支障をきたさないこと。

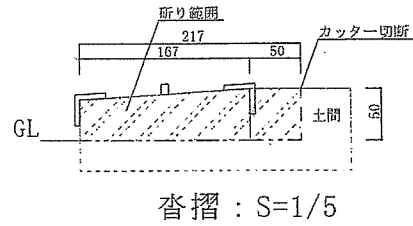
 仮設養生範囲

件名	日出生台演習場假令建具改修		
図面	平面・立面図		
縮尺	図示	作成年月日	令和7年12月9日
図面番号	3/5		
陸上自衛隊 湯布院駐屯地業務隊管理科			

(改修前)南側通用口 $\frac{AD}{1}$

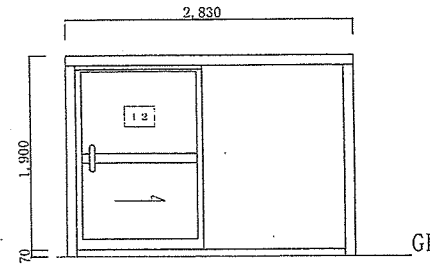


建具 : S=1/50

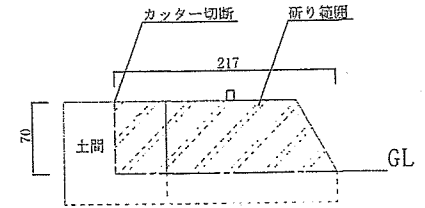


沓摺 : S=1/5

(改修前)北側通用口 $\frac{AD}{2}$

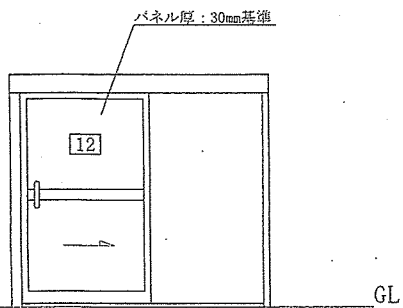


建具 : S=1/50

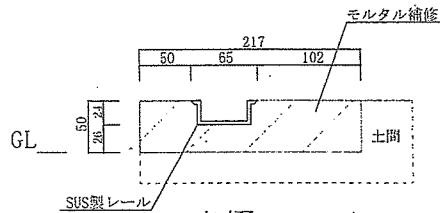


沓摺 : S=1/5

(改修後)南側通用口 $\frac{AD}{1}$

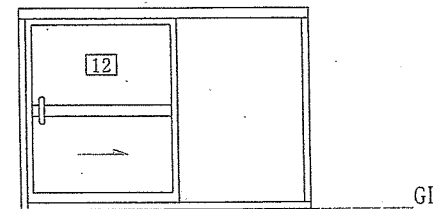


建具 : S=1/50

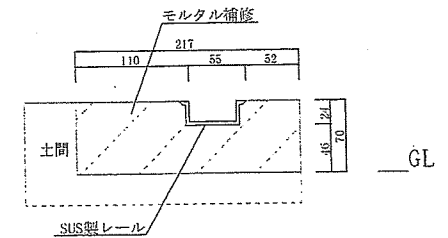


沓摺 : S=1/5

(改修後)北側通用口 $\frac{AD}{2}$



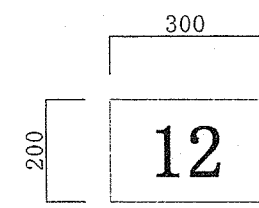
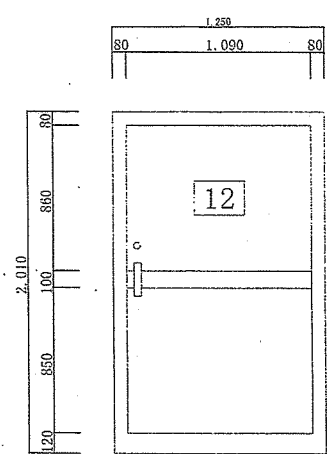
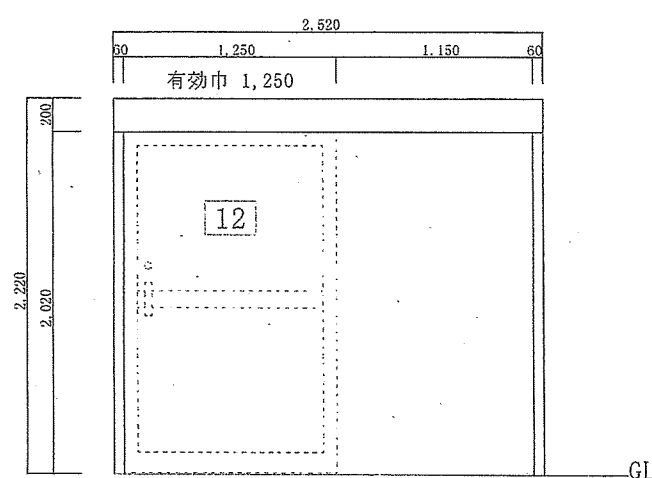
建具 : S=1/50



沓摺 : S=1/5

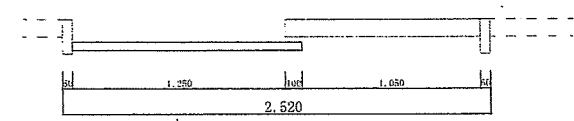
件名	日出生台演習場施設建具改修			
図面	建具表			
縮尺	図示	作成年月日	令和7年12月8日	図面番号
				4/5
陸上自衛隊 湯布院駐屯地業務隊管理科				

【南側通用口】 $\frac{AD}{1}$

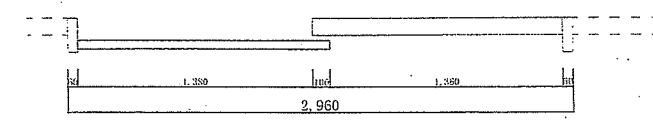
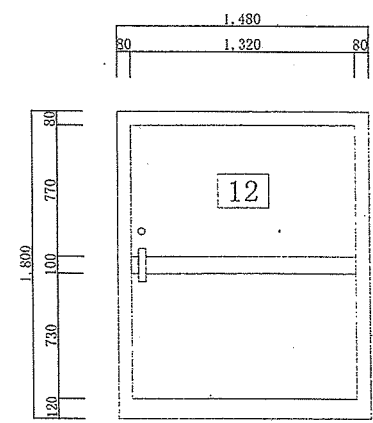
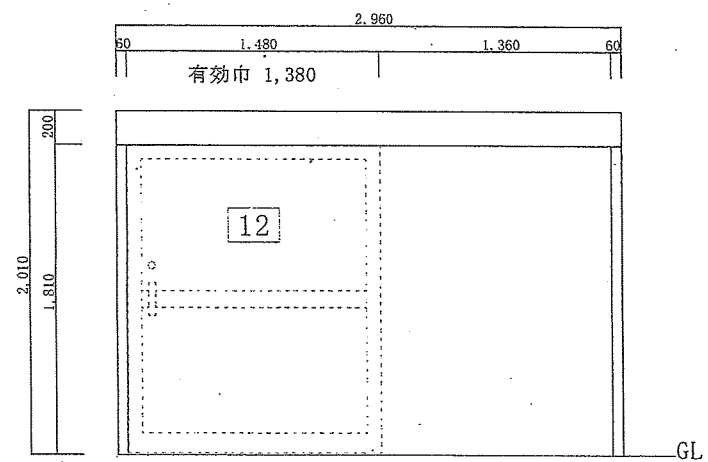


【建屋番号表記基準】

書体：MS明朝体(半角)
 文字加工：吹付塗装(黒色)
 材質：アルミ製(板厚2mm)
 取付：リベット固定(四方4点)
 表記位置：パネル上部中央
 左図参照
 作成番号：10・11・12 (各建屋2箇所)
 文字サイズ：150×150mm



【北側通用口】 $\frac{AD}{2}$



件名	日出生合演習場施設器具改修工事		
図面	器具詳細図		
縮尺	1/30	作成年月日	令和7年12月8日
		図面番号	5/5
陸上自衛隊 湯布院駐屯地業務隊管理科			